

成人  
向け



Hitotoki no

一刻の夢

Yume ututu

WEB再録版





お寺の膝丸と神社の髭切。  
現代の京の都でお付き合いしている刀の付喪神のお話です。  
来歴、付喪神に関する個人的解釈を多分に含みます。  
ご注意ください。

**この物語はフィクションです。  
実在の人物・団体とは一切関係ありません。**

平成三〇年(2018) 夏  
京都……

兄者……!  
逢いたかったぞ

青もみじ  
以来だねじ  
息災かいね?

ああ  
息災だ

今日を指折り  
数えていた







相変わらず  
祭事に展示にと  
お忙しい兄者だが

時間を縫って  
こうして逢瀬を  
重ねている



そちらも今年は大忙しだね

60年に一度の

兄者に比べれば  
なんてことはないぞ!

ふふ  
いやいや



そうだと  
これを見せて  
たくて



兄者  
これは?

今度の催しの  
授与品だそうだよ

新しく  
作ったんだって

香袋か!

兄者を  
模している  
のだな!









お前の兄者  
だぞ  
仲良く  
出来るな

可愛いね〜

どうい理由か  
ここ最近



喜ばしいのだが  
限りないのだが

俺たちを模した  
授与品の数が  
一段と増えた



ありや？  
霊力を  
使いすぎたかい？

そうかも  
しれん……  
力を与える  
事が増えた  
からな



ふう……





じゃあおいで

あ、ああ…

また久しぶりにな  
なってしまったね



お前たちは  
遊んでおいで


媒体から  
あまり離ぬ  
ようにな

か弱  
だい




こうして  
俺たちは  
霊力を補給する






つまりこれは  
戯れなのだが




いや  
そもそも  
神通力は  
八幡神から  
授かったら

己から  
湧き出る  
ものだ



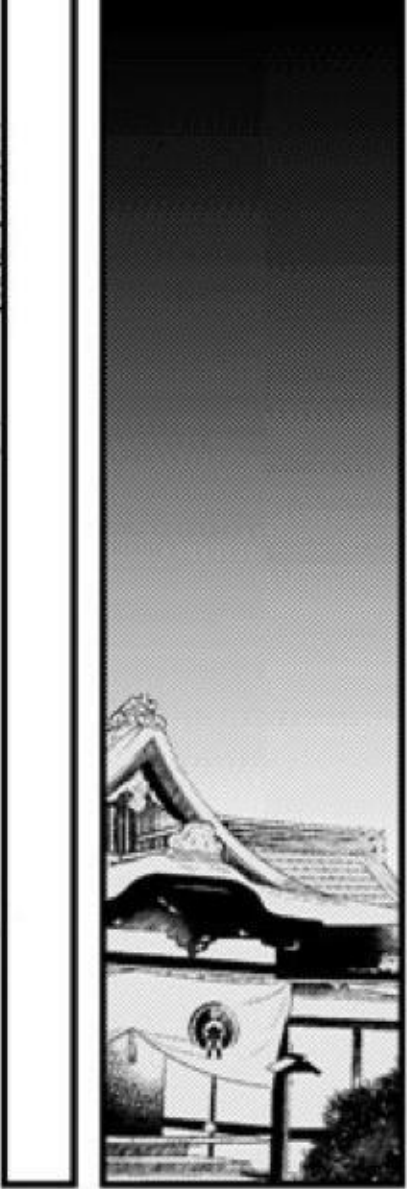
二振一具で  
打たれた我ら  
だからだろうか

不思議と  
満たされ



力が湧いて  
くるのだ……









今の僕たちと  
同じだねえ



種  
もとが揃いで  
ないから  
ではないか？

ふうん  
そうかん



そう…だな



伝承の俺たちは  
丈もびたりと同じ  
はずなのだが

今に伝わる  
髭切と膝丸の太刀は  
刀工も違い  
生まれ代も  
伝承と異なるのだ

なに長い歴史を  
紡いでいるモノには  
よくあることなのだ





そ……!

そういえば……!  
秋の展示の  
通達は受けて  
いるか?

不安になる俺は  
おかしいのだろうか



我ら揃っての展示と  
聞いている

源氏の双剣  
として!

ついに兄者と  
並べるのかと  
心待ちにし……



え?  
紅葉苑の  
ことかい?

いや  
俺と兄者が並ぶ  
展示の方だ



ああそれなら  
断ったと  
聞いたけど





こ…断った…？  
なぜ…

僕のところで  
京の新しい  
取り組みの催しが  
あるんだよね

なんて  
言ったかなあ  
けーえんえふ？



そっちでの  
お勤めにな  
るから…

ありや？

…



そうか…

俺は  
てつきり…



そんな顔  
しなくても…

お前とはこうして  
逢えているのだし

本体がどこに  
あっても別に  
良くないかな

…！



源氏の重宝として  
兄者と並ぶ日を…

…そうだな

では  
またね

心待ちにしていたのは  
俺だけか……





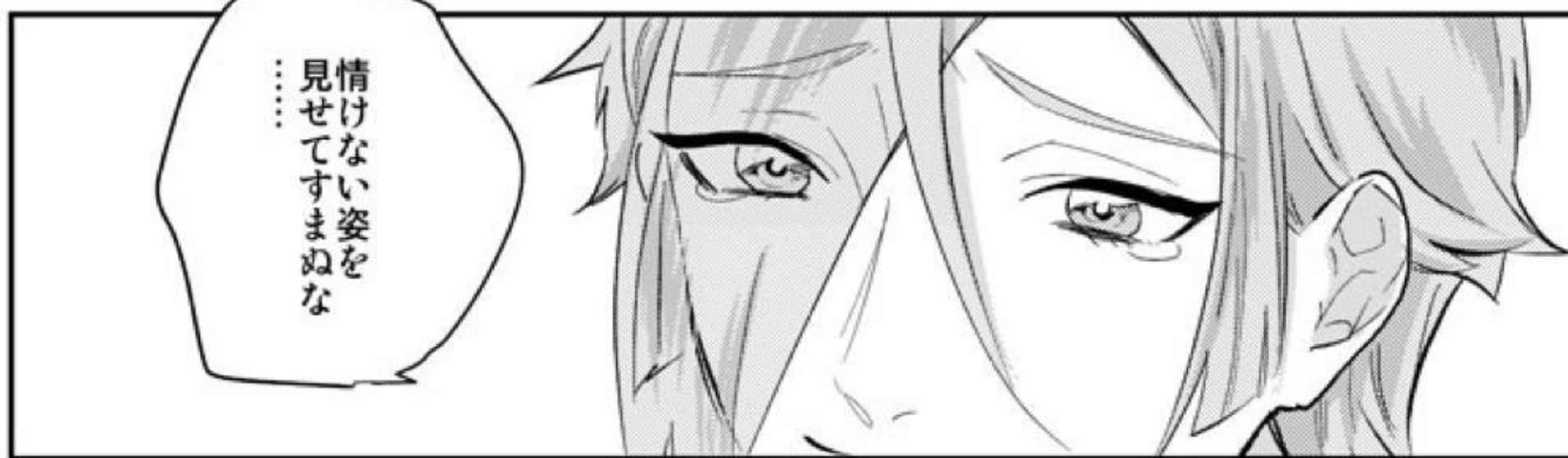


もう姿が透けてしまっている

俺の香袋と交換に置いて帰られたが



香袋の兄者…  
慰めてくれるのか



情けない姿を見せてすまぬな…



名を変え処を変え今こうして近く居られることが奇跡なのだ

武家の宝剣として打たれた俺たちだが

兄者の言うことはもったもなのだ



俺は今や  
断つ煩惱や災いを  
太刀…

このようなこと  
口にすべきでは  
ないのだが…

ただ  
隣に居たいのだ

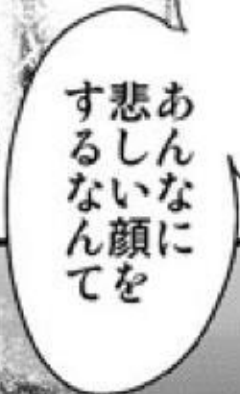
それとも  
蛇の名を貰った  
せいかいずれにせよ

双剣としての  
打たれた弟の  
性なのか

童じみた独占欲  
なのだ…











なんだい  
何か言いたいのか？

んん...？



無茶だよ  
媒体もなく...

ほとんど消え  
かかって  
いるじゃないか



あ...



わからないよ  
...

落ちていて...  
お前の力を使い  
果たしてしまったら...

?!  
?!



えーと...

消えて  
しまった...





……  
お前まで

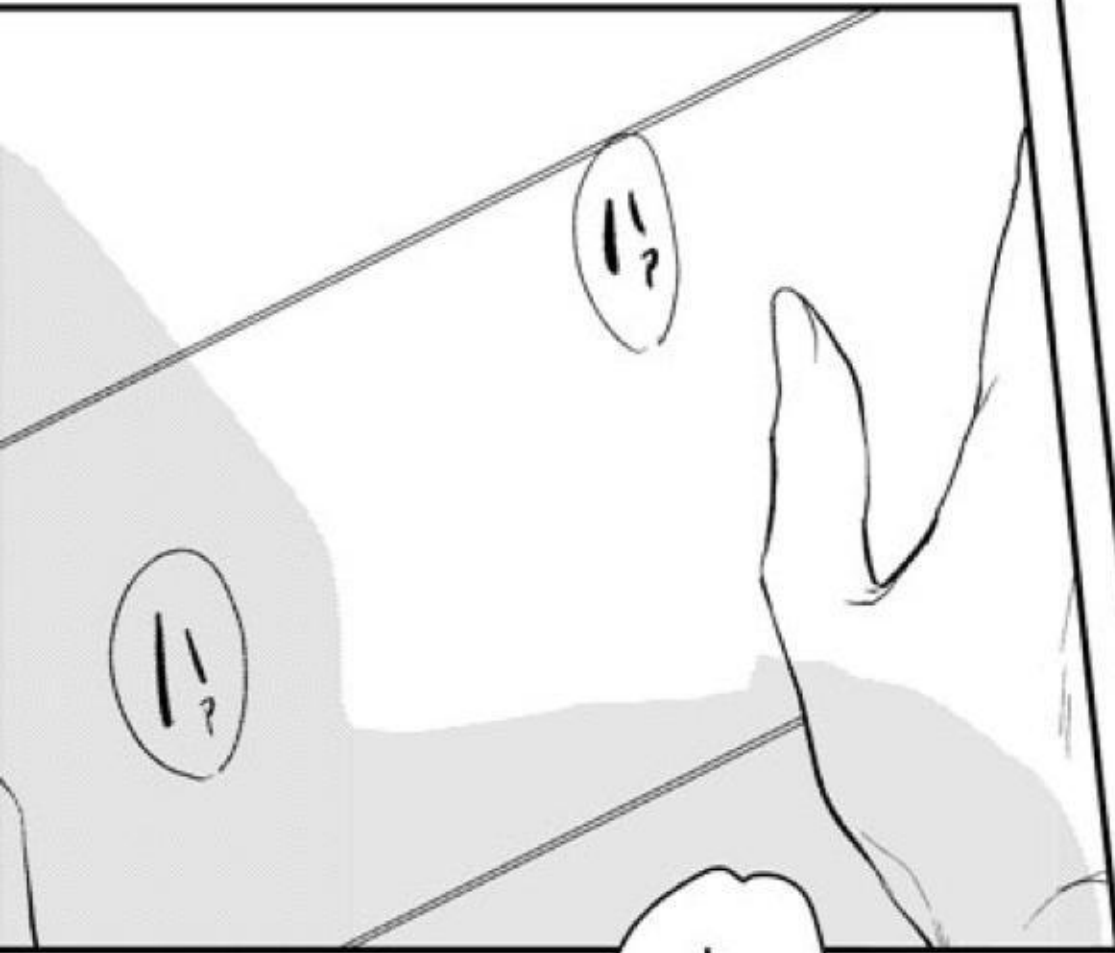


……  
そんならに  
泣いたら



あつ……





わ 忘れ物か?

小さい兄弟を見失ってしまつて.....!

うん.....

いいかい?

あ 兄者...!?

弟!

小さい兄弟...

アハハ...

.....



僕

お前と並んでの展示に  
お勤めできるよう  
働きかけてみるよ



ほ  
本当か!!  
なぜ……

小さい僕が  
飛んで来てね



何か  
死に言いたそう  
だったけれど

そのまま  
力を使い果たして  
消えてしまった

そしたら  
小さいお前も  
大泣きして  
消えてしまったよ  
……





それが  
とても可哀相で

こんなことなら  
少しの間でも  
側に置いてあげれば  
良かったなあ

器が違えど  
僕たちだものね



お前と僕も  
並んでいたい  
っつて思ってたんだ



それから、  
すぐに兄者の  
参戦が決まった



そこからは  
互いに準備で  
大忙しで……



めまぐるしい  
日々……



俺は  
兄者より一足先に  
俺は展示に入り





華道家元  
髯切オマージュ

兄者は  
大々的に  
取り上げられ

老舗懐石料理による  
髯切ぜんざい

兄者は宮の催しと  
同時進行

連日  
大盛況である  
と聞いている



俺も兄者の  
宮へ  
行きたいが  
……

明日には  
兄者は  
ここへ……！

いよいよ  
兄者と  
並ぶのか……

無理も無い……  
そつとして  
おきましよう

膝丸さん……！  
展示時間  
終わりましたよ  
……！



やあ  
待ったかい?

フツ



あ...



あ...



飛んで来て  
しまっ...  
あっ

待ちきれ  
なくて

明日と  
聞いて...

トッ

あ...





夢のような  
ひとときは

またたく間に  
過ぎていく

9.29(土) - 11.25(日)  
京博物館

刀剣特別展  
かたな展



今日までだな  
兄者

髭切展示  
最終日  
……

明日からは  
宮の催しに  
戻るのだから

お忙しいな

お前は  
もうしばらく  
ここでだね

ああ  
改めて  
感謝するぞ  
兄者……!

またいつか  
並べる日を  
楽しみにしている





ずっとこの  
ときが続けば  
良いのに……



などと  
童のようなことは  
言えないが……

僕  
こへ来て  
良かったよ



たくさんの  
色んな刀がいて  
楽しかったなあ

ああ  
武家の頃を  
思い出す

姿の名前や処の名前  
逸話の名前の子……  
えーつと……

……まさか  
一振りも覚えて  
いないのでは  
あるまいな？

ふふ

ねえ

僕らが  
生まれたときのことを  
覚えているかい？


もちろんだ！

源氏重代の  
太刀として打たれ

目を開けると  
兄者が居たのだ

あのときから  
今まで変わら  
ずお慕いして  
いるぞ






そう  
千年前から  
それは変わらない…

ここに居る子たちも  
皆さまざまに  
伝承を背負っている

僕たちが  
特別とはいけれど  
言わないけれど

役目を背負って  
打たれた刀は  
どれくらい居るんだ  
ろう…



僕たちは  
初めから  
源氏の重宝として  
打たれた

だから  
器も逸話も名前も  
処も誰が僕たちを  
帯刀しても

それはたいした  
問題じゃないんだ



お前と共に  
役目を背負って  
打たれたことが  
全ただから



そう…  
だったのだな



だから  
今更ばなくても  
…なんて思っ  
いたんだよね



でも今は  
ここへ来て  
良かったよ

たくさんの子たちが  
僕ら並んでいるのを  
観に来てくれたものね

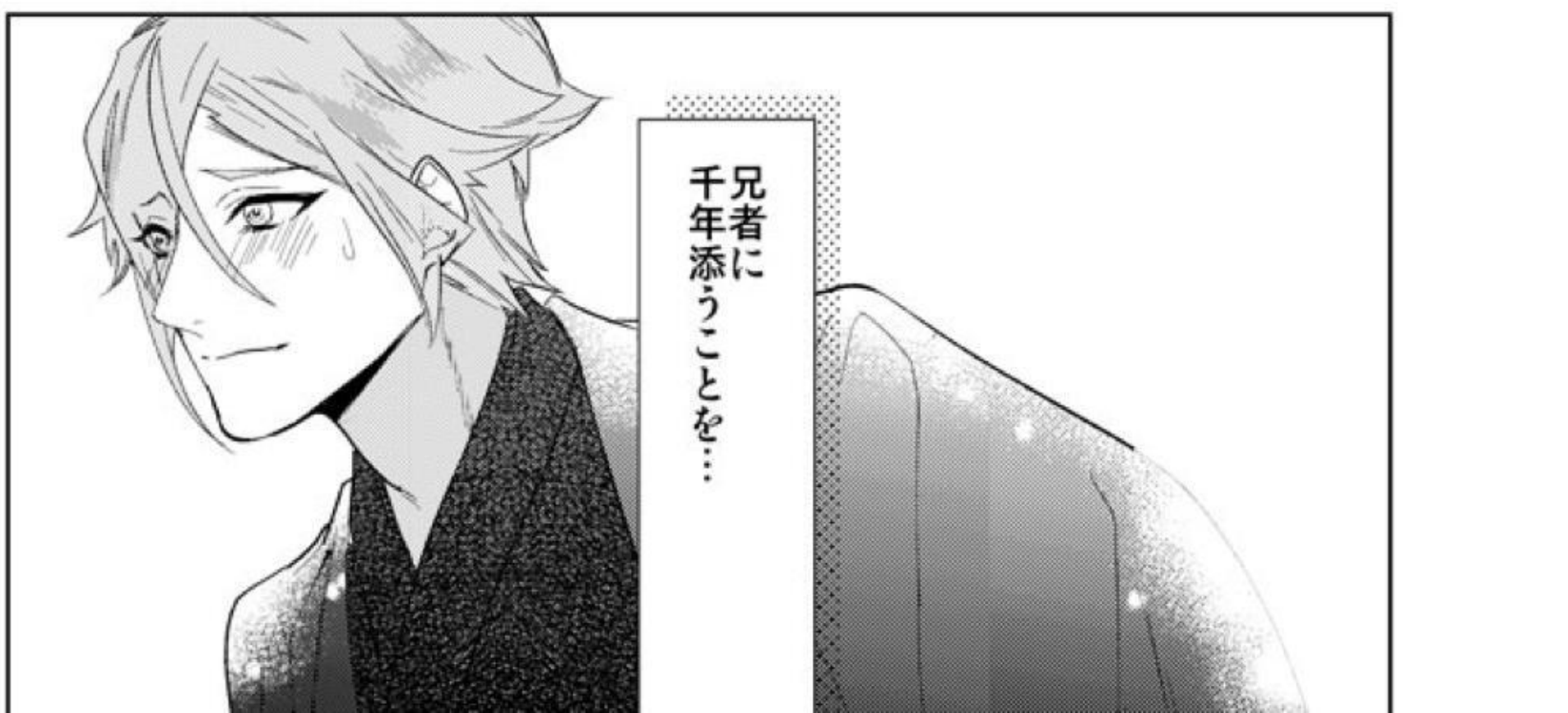
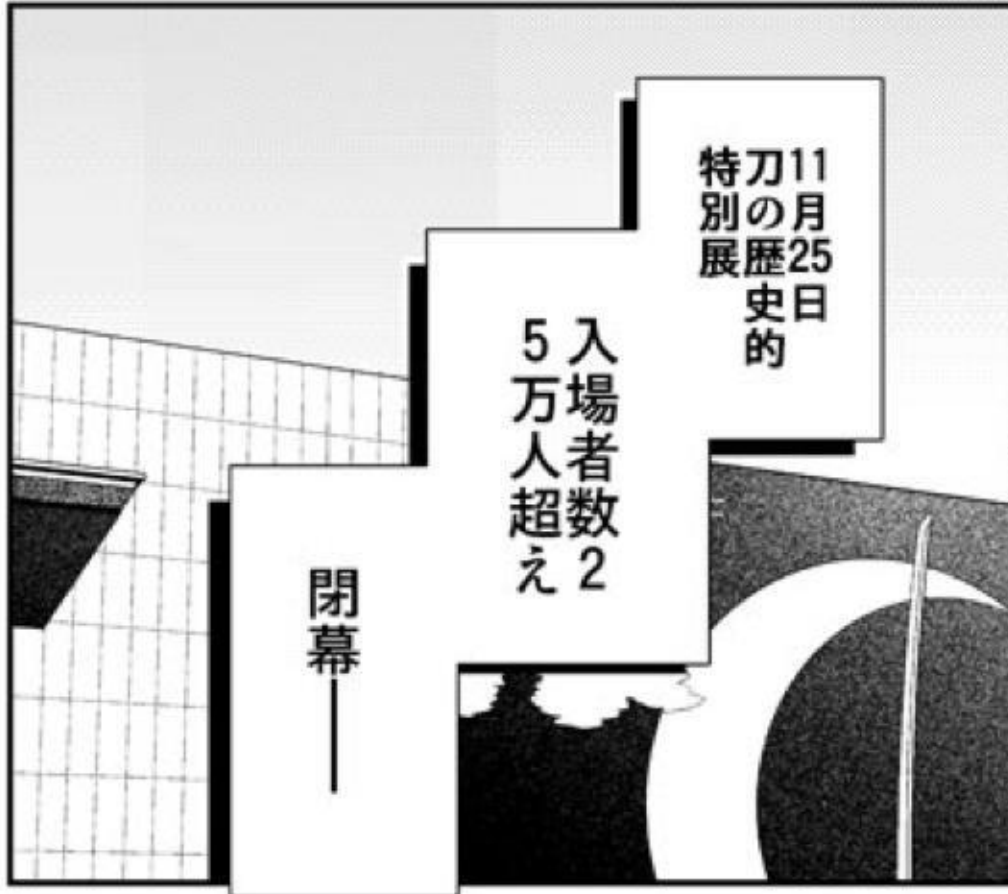
そして次の時代へ  
僕たちを  
伝えてくれるのかも  
しれないね



兄者は  
今までずっと……

それは何より  
嬉しいこと  
だなあ……

俺と共に居て  
くれたのだな……！





千年  
俺が兄者のもので  
あったことを……

もうすぐ  
逢える

兄者の宮の  
紅葉苑が  
済めば……



年の瀬の  
準備の前に  
少しだけ……

膝丸所蔵  
の寺

6011月30日  
法会  
に一度の  
閉扉

ようやく……!!

髭切所蔵  
の宮

紅葉苑、  
延長

ありや

兄者あああああ  
あああああ



12月某日……



今度は強めの  
霊力を入れたよ

だからと言って  
無茶はならんぞ

……聞いて  
いるか？

この間の  
記憶が  
あるんじや  
ないかな？

同じ媒体  
だもの



兄者……



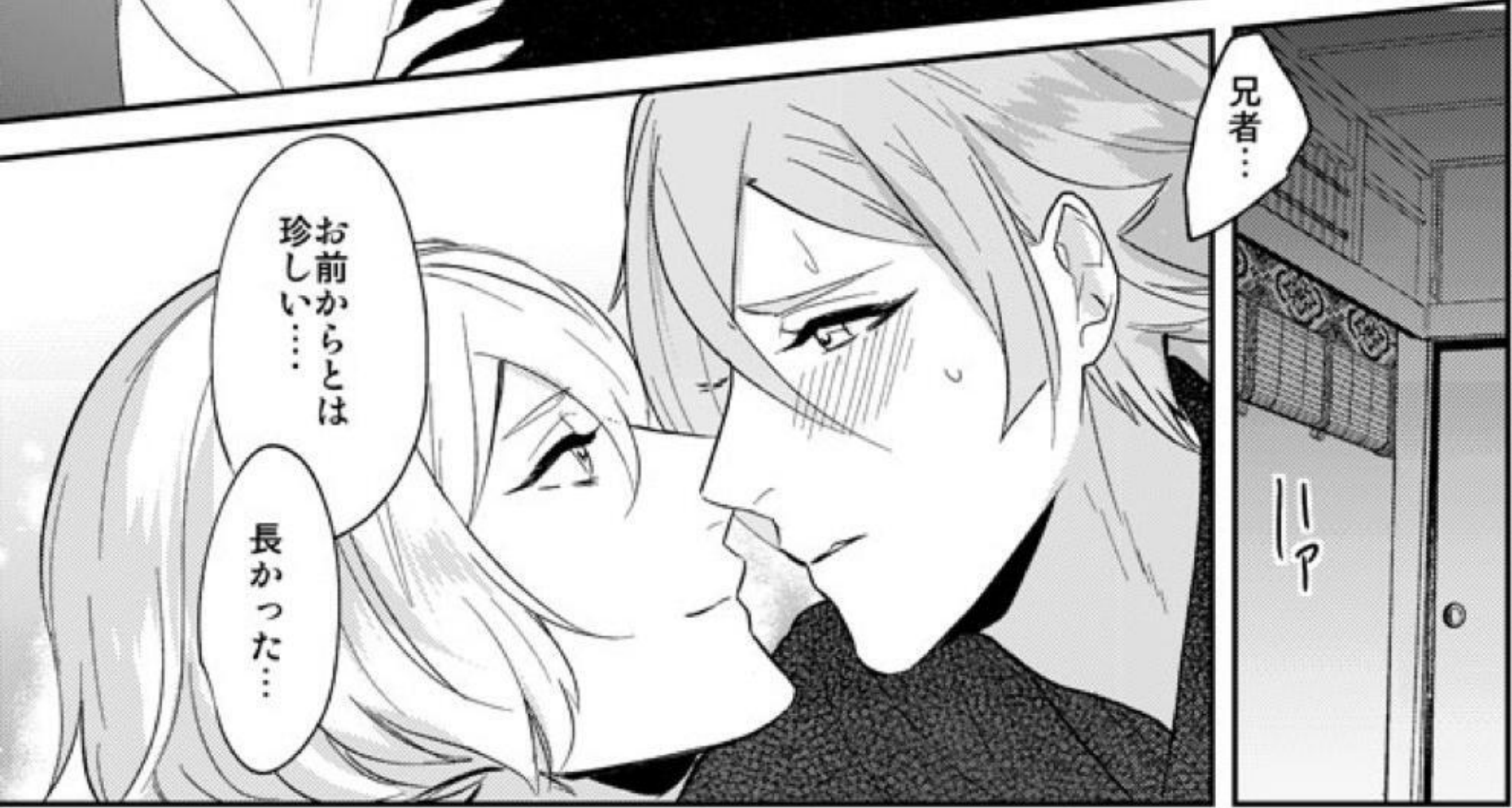
遊んで





ゆ...

...おお



兄者...

お前からとは  
珍しい...

長かった...

ヒッ



ン...

僕も  
こうしたかったよ

うん









ありや…  
準備するの  
かい？

我慢  
できぬ……

11?

11?

11?

11?  
11?  
11?  
11?  
11?



えっち…

11?

11?

11?

11?

11?

11?





アーン  
アーン  
アーン

兄者…あ

ん…



アーン

アーン

あつあつ



アーン

アーン

だって  
触りたかった

やあだ

待っ…っ  
触るのは…

はっ

しゅ  
しゅ



アーン

アーン

アーン

アーン

アーン

アーン

あつあつ



あ

アーン

あつ

アーン

アーン

ねえ  
ちやんと  
指も動かしてよ

アーン

アーン





























……  
ずっとずっと  
一緒に  
いようね



平成末期の  
暮れ

夢のような  
ときを  
過ごした



ところで  
兄者

年始は  
何日から  
お勤めだの？

え？  
元旦だけと？

……





longtime

長い長い  
我らの  
歴史の

ほんの  
ひとときの  
話だが

ことしえ  
永久に  
変わらぬ  
縁の  
物語だ



現存する膝丸と髭切の太刀は逸話より若い。

大規模な刀の特別展にて、膝丸と髭切の音声ガイドで逸話と器が必ずしも合致しなくとも、それはいつしか本物になるという大変ありがたい解説が入りました。

この題材については長く頭を悩ませていたし、なにより今後「極」の源氏実装ではどうなることかとハラハラしておりましたが、公式からこういった素晴らしい解説を明言していただいて

言葉に出来ないほどの感謝を覚えました。

膝丸よかったなあよかったなあ……  
源氏の重宝として二振りが翫ったあの素晴らしい場所に居合わせたこと、とても幸せに思っております。秋、めちゃくちゃ楽しかった~~~~!!!!

というわけで今回は二振が源氏の重宝だと全面的に肯定したお兄ちゃんでお送りしました！こんなのがかける日がくるなんて本当に幸せです。

最近某ご実家様の兄者の展開もすごくてですね、全然描ききれなかったほどです。あの活花の池某髭膝なんて膝丸が見たらどうなっちゃうんだ……私も普通に涙ぐみましたし……

これからも二振の歴史を見守れるのが楽しみだし何を魅せてくれるのか楽しみだし二振の未来が守れるなら少しでも保全に協力したいと思っております。

いかがわしいマンガ猫いてすみません……

それでは、ここまでお付き合いありがとうございました。

かたな展の膝丸の解説めっちゃ良かったなあ…  
あれは200年後の本丸の膝丸が収録したとして  
今回はそれに至るお話が描けてるといいなあ

2018・12・30

印刷：西村西村謄写堂

遙か彼の歌

Pixiv:701601 twitter:87ta

描いた人:ハナタ



描き下ろしのおまけ

器と逸話

こんにちは  
現存する髭切、膝丸は  
伝承の姿と異なりますが

必ずしもそれが  
同じである必用は  
ありません

人から人へ  
伝承が積み重なり  
それはしか

本物と  
なるのです





これは、某大規模  
特別展の膝丸ボイスの  
アナウンスです。

※原文ではありません

……大事にしよう

本丸の  
源氏兄弟と

ガチの  
重要文化財と

二振りの逸話を。

たふと脚をなぐさす  
HONKAWAのたふと  
たふと